

## 愛西市ふるさと納税推進業務委託プロポーザル審査講評

愛西市ふるさと納税推進業務委託  
プロポーザル特定審査会  
会長 鈴木 睦

### 1. 選定経緯

令和 5 年 7 月 5 日に愛西市総務部長より 8 名に対して本プロポーザルの特定審査会委員の依頼があり、その後、2 回にわたる特定審査会で審議を行い、最優秀者及び次点者を特定した。

(特定審査会委員)

会 長	鈴木 睦	愛西市副市長
委 員	澤井 勇一郎	愛西市企画政策部参事
委 員	井戸田 悦孝	愛西市企画政策部経営企画課長
委 員	木村 純子	愛西市教育部生涯学習課課長補佐
委 員	藤田 佳久	愛西市産業建設部産業振興課主査
委 員	水谷 繁夫	愛西市教育部学校教育課主査
委 員	曾根 晴之	愛西市企画政策部秘書広報課主任
委 員	吉田 匠吾	愛西市市民協働部市民協働課主事

(事務局)

愛西市総務部財政課

#### (1) 第 1 回特定審査会 (令和 5 年 7 月 31 日)

第 1 回特定審査会では、委員の互選により、鈴木睦委員が会長に選出された。その後、愛西市ふるさと納税推進業務委託プロポーザル実施要領 (案) 等について審議した。

その後、今後の特定審査会スケジュールについて審議した。

#### (2) 第 1 次審査 (書類審査) (令和 5 年 9 月 29 日)

提出された 4 者の参加申込書等により参加資格要件について審議し、その結果、4 者ともに第 2 次審査参加者として選定した。

また、①会社の経営状況、②会社の業務実績の 2 点について第 1 次審査を行った。審査方法は、評価基準に従ってあらかじめ事務局が採点した結果について、これを了承した。

#### (3) 第 2 回特定審査会 (令和 5 年 11 月 2 日)

非公開の場において、選定した 2 者による個別プレゼンテーション及びヒアリングを実施した。終了後、業務提案書の内容とプレゼンテーション及びヒア

リングの総合評価による第2次審査を行い、各審査委員が最終的な評価をし、集計を行った。なお、業務提案書のうち見積額については、評価基準に従ってあらかじめ事務局が採点した結果について、これを了承した。

集計結果をもとに最終的な審議を行い、最高得点の者（A者）を最優秀者として特定、次位の者（D者）を次点者とした。

## 2. 選定講評

ふるさと納税制度を通じ、本市へのふるさと納税に係る寄附の受付、寄附情報等の管理、返礼品等の発注・配送管理、寄附金受領証明書等の発送、「愛西市」のシティプロモーションにつながる広報などの多岐に渡る業務について、民間事業者が持っている体制やノウハウを活用し、効率的かつ効果的に進めることにより、自主財源の確保、本市の魅力発信と経済活性化を図ることを目的とし、特定審査会においてプロポーザル方式にて業者を選定することに決定した。

第1次審査では、本プロポーザルに参加する資格要件について審議するとともに、会社の経営状況や業務実績について評価し、第2次審査では、提出された業務提案書をもとに、個別プレゼンテーションを実施するとともに、業務提案に対するヒアリングを実施した。

両者の業務提案は、どちらも本プロポーザル実施要領及び仕様書に沿っており、プレゼンテーション及びヒアリングでは、明確な説明と質疑応答がなされておりましたが、寄附件数増加が見込まれる効果的なプロモーション、本市の返礼品の候補になり得る魅力的な商品を把握し具体的な提案等について評価に差が生じ、第1次審査結果との総合点で、最高得点者であるA者を最優秀者として特定することとなった。

非常に多岐に渡る仕様書であったにもかかわらず、プレゼンテーション及びヒアリングは非常に円滑に行われ、真摯かつ意欲的な姿勢と、豊富な実績と技術力をもって愛西市のために貴重な提案を示していただいた両者に対して、審査委員一同敬意を表す。